



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員は会費に含まれる

発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637
インターワンプレイス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

主な内容

診療報酬改定ごみみる② 入院 (2面)
地区医師会との懇談西京綾部 福知山 (2面)
雇用問題でアンケート (4面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
- ◆休業補償制度 (所得補償、傷病疾病保険)
- ◆針刺し事故等補償プラン
- ◆自動車保険・火災保険

☎075-212-0303

厚労省懇談

噴出する不安や疑問の声

「新専門医制度」で意見交換行おう

2017年4月の「新専門医制度」による研修開始まで約1年。ここへきて日本病院会や日本医師会から実施延期が叫ばれる事態となり、厚生労働省の社会保険審議会・医療部会に設置された「専門委員会」での議論も始まった。

協会はこれまで主に「新専門医制度」について総合診療専門医を検証してきたが、昨年末から同制度が地域医療へもたらす影響への懸念が広がってきた。「第5回開業医フォーラム」(既報・2月7日開催)でも、特に初期臨床研修必修化以降、積極的に後期研修施設として若い医師を育成・医師確保を進めてきた中小病院の危機が濃厚となった(4面にアンケート結果)。

協会は3月18日、地域医療構想への懸念も含めた「新専門医制度」ならびに医療・介護サービス提供体制改革について「塩崎恭久厚労大臣宛要望書」を取りまとめ、垣田さち子理事長と吉中丈志理事長が上京し、厚労省との懇談を実施した。厚労省からは医政局医事課医師臨床研修推進室・田村卓也室長、同・小野田充彦臨床研修係長、医政局地域医療計画課・細川康二課長補佐が対応した。

懇談では要望内容に対する厚労省のコメントを受け、意見交換した。

厚労省は「新専門医制度」への懸念・指摘の拡大に関し、一般社団法人日本専門医機構(以下「機構」)は意見を真摯に受け止め、柔軟に対応するスタンスだ。社保審・医療部会の下に設置された専門委員会(専門医養成の在り方に関する専門委員会)第1回会合(3月25日)でも、機構は地域偏在を助長しない努力や取り組みについて報告

ストップ! 患者負担増

患者署名にご協力を!

本紙に署名用紙を同封しています。ぜひとも窓口での患者署名活動にご協力をお願いします。(関連3面)

主張

2035年を見据えた保健医療政策のビジョンと銘打たれた『保健医療2035』は、策定懇談会により昨年まとめられたものである。策定委員には若い世代の厚生労働省官僚や大学教授などが中心となり、自分なりに20年後を見据えた保健医療のパラダイムシフトを提言したという。しかし、その内容のほとんどはこれまで政府系会議で方針化・決定された医療政策の焼き直しである。

診療報酬改定論議に割り込んできた『保健医療2035』とは?

懇談会であり、個人的認識や発想を披瀝した提言に過ぎない。しかし、問題は「この提言に塩崎厚労大臣がまる乗りして推進本部を」

「2035年、日本は健康先進国へ」となる。現在は健康後進国という認識かと思いきや「我が国は高収入・高所得・高水準の医療を享受し、手厚いサービスを受け、健康寿命を延ばす」という提言が、努力の賜物である」と高く評価している。ところがこの提言は、少子高齢化の急速な進展、疾病構造の大幅な変化を対峙し、「これまで



要望書を手渡す垣田理事長と吉中理事長

する。それに対し寄せられた意見を受け、さらに修正・検討するとした。

その上で協会の要望にある「大病院・大学病院ではないか」「中小病院から医師・指導医が引きあがられるのではないか」「新たな規制や義務化が課せられるのではないか」等の指摘について、ごもごもな点もあるだろうが、実は機構の説明不足が原因で誤解を招いている面もある。確かに領域によってハードルが高いものもあるが、19基本領域の基準は様

フティネット・フリーアクセス・世界一の良好な保健アウトカムを、比較的低い医療費で達成してきた。これは、先進の叡智と国民の設置したうえ、今次診療報酬改定内容にも言及するようになってきている。そもそも策定会議の性質は「非公開の自由闊達な議論」の中身だが、まず主タイトルの「2035年、日本は健康先進国へ」となる。現在は健康後進国という認識かと思いきや「我が国は高収入・高所得・高水準の医療を享受し、手厚いサービスを受け、健康寿命を延ばす」という提言が、努力の賜物である」と高く評価している。ところがこの提言は、少子高齢化の急速な進展、疾病構造の大幅な変化を対峙し、「これまで

意味は「価値の高いサービスをより低コストで提供すること」とある。内容的に政府・財界がかねがね主張してきた「新システムを導入された「アウトカム評価」で費用対効果」とを合体させたものに類似し、さらに「ビジョン達成に最も重要なものは、透明かつ説明責任の確保」とあり、これは既出の「見える化」に過ぎない。いずれも目新しいものではない。また第3の柱がグローバル化であるが、これは医療を自玉にした「新成長戦略」そのもので、す

でに経産省は医療システムの世界も波というところになる。この中で自分の自由になるのは心だけであり、心の持ち方一つですべてが変わるということである。長い間、人々にとって「強いこと」が最も大切な事柄であった。その後、時代が進むと、「正しいか正しくないか」がそれにとつて代わり、さらに時代が進んで21世紀になると、「楽しいかどうか」に変わった。医療制度でも政治でも、心に楽しさ、夢がなければ何も動かないといふことである。(Clean)

代議員・予備代議員 補選の公示

東山 中京東部

東山医師会選出の代議員および中京東部医師会選出の予備代議員に欠員が生じました。それにもない京都府保険医協会選挙規定第32条1項により、代議員・予備代議員の補欠選挙の公示を次の通り行います。

▽公示日 2016年4月5日(火)
▽締切日 4月12日(火) 午後4時
▽定員 1代議員1人
▽定員 予備代議員1人

立候補届出書は本協会事務局に用意していただきます。また当該医師会長宛にも送付しています。

医	評	J.S. バッハはラ イプツィヒの聖トーマス教会で、自作を奏でていた。スタンドグラスで飾られた教会内で、聴衆はチェンバロのまわりに陣取って演奏を聴いていたが、それは同時に祈りを捧げることでもあった。バッハは曲を通して神を伝え、聴衆は曲の背後に神を感じた。今の我々はどうであろうか。バッハを聴くために、コンサート造りの無機質な音楽会場へ足を運んでも、そこに神を感じることは難しい。▼ところで、いい音楽を聴くと、なぜい気持ちはなるのであろうか。物理学的に考えると、お互い作用を及ぼすには、それぞれが同じ性質である必要がある。つまり同一次元(ディメンション)ということである。音楽は空気の振動であるから波であり、それが心に影響するのであるから心も波である。心は身体やまわりの環境から影響を受けるので、身体やまわりの世界も波ということになる。この中で自分の自由になるのは心だけであり、心の持ち方一つですべてが変わるということである。▼長い間、人々にとって「強いこと」が最も大切な事柄であった。その後、時代が進むと、「正しいか正しくないか」がそれにとつて代わり、さらに時代が進んで21世紀になると、「楽しいかどうか」に変わった。医療制度でも政治でも、心に楽しさ、夢がなければ何も動かないといふことである。(Clean)
---	---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------